



「ウッドデザイン賞2019」 受賞作品一覧

技術・研究分野

ライフスタイルデザイン部門

受賞作品名	受賞団体名 (主たる応募者、共同応募者)	サブカテゴリ	作品の概要 ※受賞者提供情報に一部編集・加筆等をしています	写真
囿柱ラーメン木構造	有限会社ライン工業 (岐阜)	新たな工法・素材活用の技術	一般流通スケールのヒノキ汎用製材4本を専用金物で締結し、組柱とした強靱な「囿柱」と剛梁で、耐力壁に頼らない木質ラーメンを形成する。連続した大開口・大空間が、人の営みを豊かにする木造で可能となり、コンビニ・テナント・事務所をはじめ、学校・保育園・福祉施設・庁舎・コミュニティ施設などに利用できる。	
Torch ～留める・つなぐ・創る～ 三角形のアーチと屋根の組み合わせによる自在な木質空間	東京大学木質材料学研究室(東京)	展示用製作物	Torchは、通常の建築では使われない三角形の木質パネル(薄型CLT)の組み合わせによってできる、独創的な形状の木質パビリオン。「留める・つなぐ・創る」をコンセプトに設計され、部材を留めて、アーチをつないで、空間を創るという意味と、人が留まり、輪がつながり、場を創るという思いが込められている。	

ソーシャルデザイン部門

都市を木質化する外壁カバー工法「MARC SYSTEM (マークシステム)」	ニチハ株式会社(東京)	新たな工法・素材活用の技術	窯業系外装材における標準施工の高さ制限16mを、独自工法MARC SYSTEMにより45m規模まで拡大。中高層建築物への施工が可能となり、オフセットサイディングを使用することで都市を木質化する。新築・リフォーム問わず外観の意匠性を高め、老朽化に対する安全性確保など建築ストックの課題解決にも寄与する。	
日本初となる中高層木造ハイブリッド建築を実現する技術の実証	三菱地所株式会社(東京)、株式会社竹中工務店(東京)、山佐木材株式会社(鹿児島)、田島山業株式会社(大分)	新たな工法・素材活用の技術	本プロジェクトは鉄骨架構を部分的に木造化した集合住宅である。木造ハイブリッド化にあたり、CLTを床と耐震壁、耐火集成材を柱として使用する際の技術的な問題を分析して課題化し、その解決を狙いとした。構造性能や耐火性能、居住性、生産性を高める木造技術を検証し、展開に向けたモデル事業として取り組んだ。	
エアー砲	シーバイエス株式会社(神奈川)、株式会社 グランドライン(滋賀)	新たな工法・素材活用の技術	これまで行われてきた木部の薬品洗浄に疑問を感じ、ダイヤモンドをダイヤモンドで削ることにヒントを得て、「木で木を削る」をテーマに、世界で初めてのウッドブラスト工法「エアー砲」工法を開発。既に多くの世界文化遺産や重要文化財にご採用いただいている同工法を、一般木造建築物やエクステリアなどへ応用。	
早生樹を活用した曲げ木家具の研究	飛驒産業株式会社(岐阜)、岐阜県生活技術研究所(岐阜)、国立研究開発法人 森林研究・整備機構(茨城)、株式会社イトーキ(東京)	試作品	近年、早生樹は短伐期で収穫できることで注目されている木材資源である。資源循環利用の促進や林業の収益性改善に繋がることも期待されている。早生樹材に弊社における得意技術である圧縮、曲げ加工技術を取り入れ、付加価値の高い木製家具を製作し、環境に優しい製品として展開することを目指している。	